

雄魂

第 6 号

熊本大学教育学部附属中学校
同窓会会報「雄魂」
2007年 6月1日発行
発行 熊本大学教育学部
附属中学校同窓会
〒860-0081
熊本市京町本丁5番12号
TEL 096-355-0375

印刷 株式会社 博文舎
〒862-0976
熊本市九品寺5-8-8
TEL 096-372-6000

新生熊大附中誕生

会長 平原 勇 雄



平成19年3月10日、第59回熊本大学教育学部附属中学校卒業証書授与式に列席しました。今年の卒業式はこれまでとは全く異なった斬新な卒業式で、恒例のハ

レルヤコクラスも階段状に並んだ卒業生の歌声はこれまで以上に響き、また、式場を出る際も、卒業生は担任と共に在校生、保護者の前に横一列に整列して「あ

りがとうございました。」と挨拶をしての退場でした。私にとって素晴らしい感動を得た卒業式となりました。その平成19年卒業生155名の後輩諸君を同窓会に迎えたことはとても喜ばしく、頼もしく思えます。これで昭和24年から平成19年までの同窓会会員総数は8721名となり名実ともに立派な同窓会に成りつつあります。また、平成19年4月10日には第60回入学式にも列席し、先生方の情熱に附中が今まで以上に飛躍することを確認しました。

本年8月から1年間掛けて、校舎に耐震改修工事（生徒はプレハブで授業）が順次施工されますので、同窓会の皆様にも連絡等の不便を掛けるかもしれません。個人情報保護法への過剰な反応で同窓会名簿維持も困難な状況に陥っています。新卒業生の会員名簿登録にあたっては氏名のみの表示希望があることを聞き、時代を感じたと共に、「五体になぎる雄魂は、天かけりゆく若き夢」、そして「響き」あい精神を持つ附中卒業生に個人情報守秘義務を改めて問う必要があるだろうかと、寂しさを感じました。

附合同窓生の皆様、私たちが自己を自覚めさせた第一歩である附中時代に帰って夢を見直す懐かしい話ができるのが同窓会です。ご案内の通り、今年は皆様と集う総会・懇親会開催の年です。昭和53年卒の諸君が幹事学年となつて平成19年8月12日（日曜日）に開催します。同級生・先輩・後輩の皆様のご出席をお願いします。

②特集 附中出身でたい

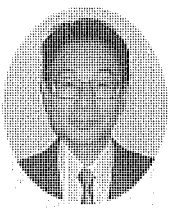
徳川埋蔵金に一番近いと言われている男

「埋蔵金ハンター」 八重野 充弘

（昭和38年卒）

夢は叶う

校長 福島 和 洋



昨年度、校長・副校長・教頭の三役すべてが入れ替わり、新しい体制のもと今年二年目を迎えています。昨年度の初め、教育目標も新たに設定し、夢を育てる教育を目指して力を尽くしているところでもあります。

感動し、自ら考え、響きあい、高めあう生徒の育成」という教育目標には、大きな夢を持ち、それを目標として、頑張つて頑張つて頑張りぬくことの大切さを学んで欲しいという願いが込められています。教育目標というものは、中学校時代

をどう過ごすかということだけでなく、将来どういう人間に育って欲しいかという期待も含まれたものです。私は、附中生には、それぞれが進んだ分野で中心的存在となつて活躍して欲しいと願っています。附中生は全員そういう資質や能力を持っていると信じているからです。私は同時に大学教育にも携わっていますので、最近の大学生や若者の特徴もよく知っています。最近の若者は、夢がなく目標も低く、

少しの達成感で満足してしまっています。熊大生くらいですと、課題を与えればそれなりに努力してクリアすることはできますが、自発的に目標を定めてそれに向かって努力するという学生を、最近ほとんど見かけなくなつてしましました。指示を待っているだけの人間には、新しい道を切り開いていくことはできません。中学生の頃から、自ら目標を定めそれに向かって努力を重ね、そしてそれを達成するというのが大事だと思います。その

ような願いが込められた教育目標であります。同時に、挨拶の大切さや自然の美しさを感じる感性を磨くことなど、人間性の向上についても力を入れて教育しています。生徒たちは、その期待に十分過ぎるくらい応えてくれています。加えて、附中の伝統である体育祭や合唱コンクールへの取り組みの真剣さは、世間で考えられている附中生のイメージを払拭するもので、このすばらしさは、外に向かって大いに発信すべきものだと思っています。

国立大学が法人化されて後、附属学校を含め、大学の環境は運営面や資金面において、非常に厳しく、本来のアカデミックな姿を徐々に失いつつあるように思います。そのような情勢の中で、我々は、同窓生の方々の誇りである附属中学校の伝統を守り、さらに新たな風とともに益々附中が活性化していくように力を注いで参る所存であります。今後とも、温かく見守って頂きますようお願い申し上げます。

平成19年度 熊本大学教育学部附属中学校同窓会 総会・懇親会のお知らせ

日 時 平成19年 8月12日（日） 午後5時より
場 所 熊本全日空ホテル ニュースカイ 2F「玉樹」
会 費 前納：7,000円 当日：8,000円（学生は4,000円）

お問い合わせは
担当学年幹事 昭和53年卒 松島孝司 携帯：090-2501-5341
mail：mat7@mx7.tiki.ne.jp まで。

詳しくは、
同封の案内状を
ご覧ください！

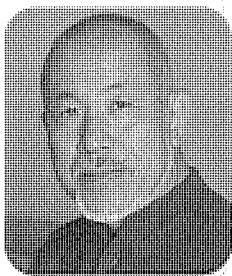
特集 附中出身したい

特集「附中出身したい」第2弾は、天草四郎の軍資金伝説が綴る、今年のはあ徳川埋蔵金を発掘するのではな

徳川埋蔵金に一番近いと言われている男

埋蔵金ハンター 八重野充弘

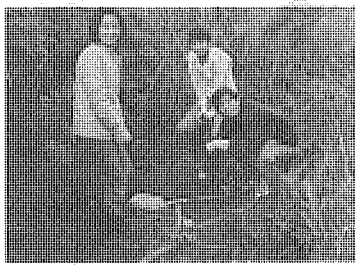
(昭和38年卒)



●継続は力？
30年以上続けてきた宝探し

「1つのことに10年続けて熱中できたら、きっと何かをつかむことができる」

大学を出て出版社に就職してまもなく、私は会社の資料室で1冊の本に出会いました。昭和の初めから半世紀近く、全国に流布している埋蔵金伝説を実地に調査してきた畠山清行(はたけやませい)氏の『足もとにあるかもしれない宝の話』(毎日新聞社刊)です。その本の中には、豊臣秀吉が幼い秀頼のために残した莫大な黄金の話や、幕末に幕臣の一部が徳川幕府の存続を目的として埋蔵した御用金の話など、メジャーな伝説もありましたが、私が最も心を惹かれたのは「天草四郎の軍資金伝説」でした。初めて知る話でし



天草の苓北町の山中にある「三角池」(?)での発掘調査のもよう(昭和50年)右端が筆者

の、その信憑性については懐疑的でした。常識的に考えれば、キリシタン農民で組織された一揆軍に、隠すような財宝があったはずがありません。2つの矛盾した気持が錯綜します。そして、当時私が担当していた子ども向けの雑誌に、この伝説を取り上げたことがきっかけで、天草在住の知人の協力もあり、たまたま「三角池」らしい場所が見つかったのです。

しまうのも、なんだかよくないような気がします。あるはずのもの「が」なかなか見つからなければ、自分を見失ったかもしれない。欲にとらわれて、財産だけでなく、家族や社会的信用などを人間にとって最も大切なものをなくしてしまつた人が何人もいることを聞いていました。一歩まちがえば、とんでもない世界なのです。

いかなと思ひ始めたのは、やはり10年くらいたつてからでしょうか。頭のどこかに刻まれていた吉田先生のお話が蘇り、何かをつかむまでがんばってみようという気になったのです。その結果、15年前に会社を辞めてフリージャーナリストとして再出発する際に、埋蔵金伝説の研究というテーマを持ち続けてきたことは、ある程度強みとなりました。幸いにも、ほかからいろいろな情報も寄せられるようになりました。最近では、第3者からの依頼で調査を行うこともあります。

担任の先生から一言
3年C組担任
吉田 定 俊

旅行作家協会に属する作家として活躍している八重野君には、もう一つ違った活躍の場があります。それは「埋蔵財宝の発掘」です。最近では海賊ウィリアム・キッドが書き残した財宝を隠した地図を入手、どうもこの島の地形的特色がトカラ列島の宝島という孤島に似ているということで、安めぐみさんと石塚英彦さんなどを手下に財宝探索に着手。この状況はNTVが現地から生中継もされました。本当に幅広い文化人です。

現在、複数の伝説をターゲットとして、国内数カ所で探索を同時進行させていますが、徳川幕府の御用金については、近々何らかの成果が出そうです(などと、ずつと言いつけてきたのですが...)。それだけではなく、宝探しの本当のおもしろさと、正しい取り組み姿勢について、いろいろなメディアを通して伝えていきたいと思っています。

宝探しは、いわば昔の人の知恵比べです。勝負に勝つためには能力のすべてを注入しなければなりません。人間の能力とは、大きく分けば知力、体力、精神力の3つでしょうか。この中の1つでも欠けたらダメです。能力が足りなかったら磨かなければなりません。ですから、おもしろくないはずがないのです。宝探しに限らず、大きな夢や目標をもつことは、人間にとって大切なことです。そして、目標を達成することが大事なのではなく、それに向かって精一杯励むことに意味があるということとを、私は学びました。

「すばらしい附中生」でした。成績面では常日頃の一斉テストでは常に30番以内に入り、加えて豊かな文才を兼ね備えていました。そうしたことが日本旅行作家協会常任理事・事務局長として朝日新聞社の週間シルクロードの執筆で、旅行作家としての地位を確固たるものにした要因でしょう。



「最前列右から2人目」35.9.22運動会

●宝探しのおもしろさを伝えたい

昭和49年の夏から足かけ5年にわたり、私は東京から熊本の実家経由で天草へ通いました。長期休暇はすべてそれに使っていました。いろいろ調べてみると、可能性がゼロではなさそうです。泥まみれになって沼地を掘りまわりました。何も出てはきません。なのに、仲間はずれに増えました。新聞やテレビで紹介されるようになり、記が「旅」という雑誌が主催していた「日本旅行記賞」を受賞するというおまけまでつきました。

今思うと、最初に関心をもったのが、財宝が実在する可能性がけつて高くない天草四郎の伝説だったのが幸いしたようです。もっと現実味のある話だったら、ろくなことにはならなかったでしょう。見つければいいのですが(いや、あまり簡単に見つかった

「私のライフワーク」というコラムに寄稿することになりましたが、始めてから5年ほどしかたつていなかったで、気恥ずかしさを覚えました。まだ本気ではなかったのです。ライフワークにしてもい

同期生から一言

附中38年卒 3年B組
山内 泰 人

中学時代は八重野君と同じクラスでは無かったのでクラスメイトに取材を行った。すると、昭和28年の大水害のことを作文にしてコンクールに入賞して沖縄に行った(文才あり)とか、演劇をやっていたなかなかの演技力だったとか、

時々奇妙なアイデアを発揮したとかの話を聞くと、現在の「宝さがし」の非は中学時代にすでに持っていたのではないかと推測されま

平成19年5月1日

追伸 丁度、還暦の国魂世代なので、今回の特集に同級生が登場したことは嬉しい限りである。

●個人ホームページ
http://ameo1.jp/ameomitsuhiko
●Twitter・ハッシュタグの検索
#ameo1
http://www.ameo1.jp

只今 体育大会準備中

5月27日に体育大会を控え、附属中学校では学校全体で毎日練習に取り組むなどして、盛り上がっています。今回は体育大会に向けてひたむきに取り組んでいる現役生徒の様子をお伝えします。

まず、体育大会は実行委員会によって運営されているところは、以前からの伝統として受け継がれています。生徒会長を委員長として、生徒会役員、各クラスの総代・副総代、各委員会・事業体長、

が集まって実行委員会を組織しています。

実行委員会では体育大会のテーマ、競技ルール、競技の得点などを話し合い決定していきます。実行委員長（生徒会長）の安枝君は「会議などは凄く（時間がかかって）大変でした。5月に入って何回も会議を開き準備をしてきました。」と話してくれました。さらに、「生徒一人一人が輝けることはそれぞれ違うから、それぞれが

輝ける学校を作りたいんです。」と真剣なまなざしで生徒会長に立候補した気持ちを話してくれました。優秀な生徒が多い附属中学校の中でもさらにリーダーシップを発揮する安枝君に驚嘆を感じました。

現在の附属中学校は、朝練（7時45分～）と夕練（授業終了後～17時10分まで）、さらに昼休み、などを使ってほぼ一日中体育大会

の準備が行われています。各団とも3年生の最後の体育大会にかけの気持ちに込めようと真剣に練習に取り組んでいました。入学したばかりの1年生には肉体的にも精神的にも大変なようです。1年生達は不安と期待と疲労が入り混じりつつ2年生、3年生についていこうと必死な様子でした。

それでは、ある日の夕練の様子をご覧ください。



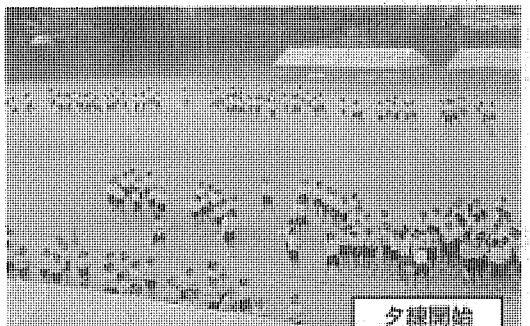
砂塵舞う中の長縄



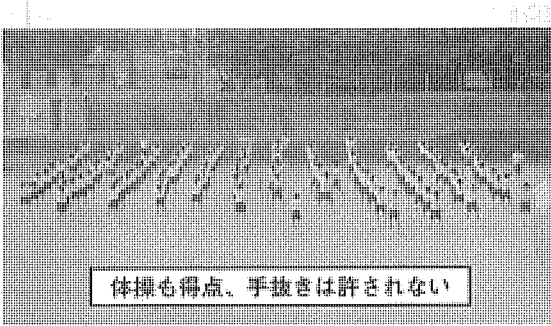
リーダーから機が飛ぶ!



円陣を組んで心を1つに



夕練開始



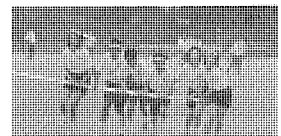
体操も得点、手抜きは許されない



伝統の競技「樽」



これも伝統「俵」



掛け声も勇ましい棒回し

そして夕練の後も様々な準備が行われています。各団の応援席を飾る団画の製作も急ピッチで仕上げが進んでいました。



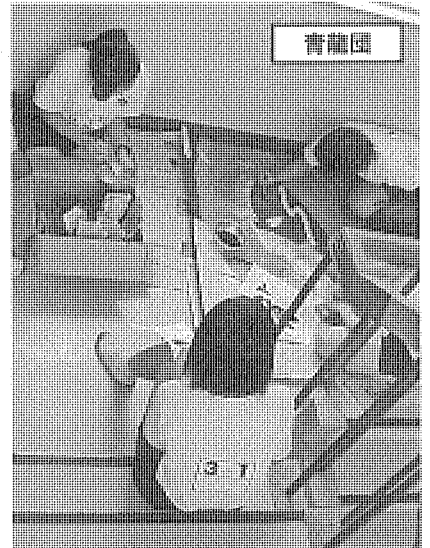
黄龍団



白虎団



赤龍団



青龍団

平成17年度附属中学校同窓会総会・懇親会報告

岡 山 和 広 (昭和52年卒)

平成17年10月9日に熊本大学教育学部附属中学校同窓会総会及び懇親会がホテルニューオータニ熊本にて開催されました。2年に1度の同窓会総会の開催で52年卒業生が運営を担当させていただきました。総会後の講演会は、全国で活躍されており、女性ソムリエの米野真理子さんをお招きし、赤、白、スパークリングと3種類のワインを60本程キリンビールにご協賛いただき、トークとデイスティングで、ほろ酔いの心地のよい時間を演出していただきました。その雰囲気そのままに続け

ての懇親会では、恩師の先生方も十数名で参加いただいたのスタートとなりました。懐かしい同窓生や、お世話になった恩師、先輩方との懇談を堪能する傍ら、会報「雄魂」でも特集されましたくりーむしゅーの有田哲平 (61年卒) さんのインタビューでの肉声を流したり、我々52年卒で、東京から同窓会のために駆けつけてくれた、特撮テレビ番組や映画で活躍する特撮監督の松田洋くんが手がけた、映画「男たちの大和」の撮影秘話や映像を先取りして放映したりと充実した内容で開催す

ることができました。また、当時の学校生活を思い出せるように現役の附属中学校の生徒諸君の活動DVDでは、昔とかわらぬ数々の行事に当時のエピソードを思い出し、歓談にも熱の入る場面も見受けられました。最後はやはり我々が校歌を元副校長の渡辺至先生の指揮のもと声高らかに斉唱し、すばらしい締めくくりとなりました。

今回は、現役の保護者として附属へリターンしている後輩諸君へも個別に参加を依頼し多数参加をしていただきました。引き継がれる幹事学

年も、もっともっと若い世代へ移管していくためにも、懇親会開催が毎年行うことができるならばと希望いたします。最後にになりましたが、忙しい中、たった数回の打ち合わせにもかかわらず、PTA執行部のような会運営をしてくれた同級生の皆様、やはり君たちはスゴイ! ありがとうございます。

本年度、松島君率いる53年卒の幹事学年の皆様への会が盛会となれることを祈念申し上げ、報告ならびにお礼とさせていただきます。

平成17～18年度同窓会活動報告

(平成17年4月～平成19年3月)

平成17年度

平成17年4月11日 第58回附申入学式

5月29日 附申体育大会

6月10日 平成17年度第1回理事会

(第11期：4回目)

7月10日 会報「雄魂第5号」発送作業

9月20日 平成17年度第2回理事会

(第11期：5回目)

10月9日 同窓会総会・同窓親会

第12期理事・役員改選

12月6日 平成17年度第1回常務理事会

平成18年1月26日 平成17年度第3回理事会

(第12期：1回目)

3月9日 附申同窓会入会式

3月10日 第58回附申卒業式

平成18年度

平成18年4月11日 第59回附申入学式

5月28日 附申体育大会

6月27日 平成18年度第1回理事会

(第12期：2回目)

7月26日 平成18年度第1回常務理事会

12月12日 平成18年度第2回常務理事会

平成19年2月1日 平成18年度第2回理事会

(第12期：3回目)

3月9日 附申同窓会入会式

3月10日 第59回附申卒業式

熊本大学教育学部附属中学校同窓会
平成17年度会計決算報告

平成18年3月31日締切

収入の部		
前年度より繰越	5,502,688	
同窓会費 振込み収入	585,000	会費×117名
販売物振込み	33,000	名簿×9冊、記念誌×2冊
新入会員会費	795,000	新入会員 159名
雑収入	288,895	懇親会会余剰金
預金利息	849	定期預金・普通預金
合 計	7,205,432	
支出の部		
人件費	480,000	職員給料
事務・文具	51,479	事務用文具
会議費	38,437	理事会会議室使用料・他
通信・連絡	66,650	切手・葉書・宅急便・電話代
学校行事費	69,300	卒業祝 紅白饅頭
慶弔費	45,000	御樽・供花等
接待・交際費	15,330	事務室への挨拶他
備品	76,119	プリンター他
名簿管理	2,520	PC 関連消耗品等
特別会計(会報)	789,135	会報事業報告別紙
合 計	1,633,970	
次年度繰越		
現金	5,666	
普通預金	2,143,940	
定期預金	3,421,856	
合 計	5,571,462	

監査の結果以上の通りに相違ございません。

平成18年4月22日 西野 隆一

光 多 幸

熊本大学教育学部附属中学校同窓会
平成18年度会計決算報告

平成19年3月31日締切

収入の部		
前年度より繰越	5,571,462	
新入会員会費	775,000	新入会員 155名
預金利息	1,645	定期預金・普通預金
雑収入	6,000	
合 計	6,354,107	
支出の部		
人件費	480,000	職員給料
事務・文具	36,592	事務用文具
会議費	38,405	理事会会議室使用料・他
通信・連絡	11,800	切手・葉書・宅急便・電話代
学校行事費	69,300	卒業祝 紅白饅頭
慶弔費	40,000	御樽・供花等
接待・交際費	17,302	事務室への挨拶他
名簿管理	3,045	PC 関連消耗品等
合 計	696,444	
次年度繰越		
現金	55,222	
普通預金	2,179,763	
定期預金	3,422,678	
合計	5,657,663	

監査の結果以上の通りに相違ございません。

平成19年4月24日 西野 隆一

光 多 幸

会報「雄魂」第5号 会計決算報告

2005年7月20日締切

収入の部		
会報特別会計	789,135	本会計より補助
合 計	789,135	
支出の部		
印刷	175,140	会報・封筒・振込み用紙
通信・連絡費	567,220	
会議費	12,000	発送作業
事務用品	34,775	タックシール・資料印刷用紙
合 計	789,135	

平成17年7月30日

上記の通り報告いたします。

熊本大学教育学部附属中学校同窓会

同窓会会報編集委員 芦村 浩一

平成17年 熊本大学教育学部附属中学校同窓会 懇親会 収支報告書

収入の部			
会費	688,000	郵便事前振込み	86名
	504,000	当日支払い参加者	63名
御樽	55,000	11名	
合計	1,247,000		
支出の部			
ホテル支払い	852,340		
企画・運営費	45,000	ワインセミナー、仏田監督 等 備品、プロジェクター、試験ワイン、司会等	
印刷・製作物費	38,500	看板：外注、名札、葉、総会資料、コサージュ、 領収証作成他	
会議費	20,000	¥5,000×4回	
事務用品	2,265		
余剰金	288,895	同窓会本会計へ	
合計	1,247,000		

平成18年3月15日

上記の通り報告いたします。

同窓会総会及び懇親会担当理事

岡山 和広

編集後記

第6号の特集「附中出身でたい」を八重野さんに原稿を依頼したところ、次のようなメールが返ってきた。『5号の編集後記にあるように、平原会長は“偉い”人より“チョイ変わった”人のほうがよろしいとお考えのようですので、「それなら、ま、いいか!」という感じでお引き受けさせていただきます。』と・・・・。これまで誰にも読まれず、何の役にも立たないと思っていた編集後記が、今回、意外な活躍をした。そこで、編集後記を表舞台に引き上げていただいた八重野さんには敬意を表し、原稿の文末にあるURLは、八重野さん個人のホームページと近々Web上にアップ予定のレッスンのホームページですので、興味のある方は覗いて下さいとコマーシャルをしておきます。

そうそう会長で思い出した。週末はゴルフにも拘りませず締め切り日までに原稿を届けていただきありがとうございました。体育大会取材のために何度も附中に足を運ばれた大鶴君、様々な資料を提供していただきました高田さん、ご苦労様でした。また、8721名への発送作業をされた幹事学年と理事のみなさんには何とお礼を述べて良いかわかりません。

このように“雄魂”は、多くの方々の協力によって同窓会会員の皆様のお手元に届いております。そこで、この心意気を感じ本年8月12日(日曜日)に開催されます同窓会総会・懇親会には多くの方々が出席されますようお願い申し上げます。

芦村 (47年卒)

事務局だより

「同窓会事務局からのお願い!!」

同窓会事務局では、会員の皆さまに会報「雄魂」をお届けし、懐かしい母校の様子、そしてクラスメートや先輩、後輩の活躍をご覧いただければ、と願っています。

個人情報取得に厳しい昨今、住所変更の際にはご本人様からの申し出が無ければ、お手元に会報をお届けすることが出来ない状況です。

転居・町名変更等、連絡先・住所変更の際はご面倒ではございますが、お手持ちの葉書またはE-mailにて新しい連絡先・住所を同窓会事務局までお知らせください。

会員皆様方のご協力をお願い致します。

〒860-0081 熊本市京町本丁5番12号

熊本大学教育学部附属中学校同窓会 事務局

E-mail: hiroko@educ.kumamoto-u.ac.jp

* 平成9年発行の附中創立50周年記念誌¥3,000(送料込み)残部がございます。ご希望方は、お近くの郵便局から郵便振込み口座へのご送金をお願い致します

郵便振込口座 口座番号 01980-6-9201

加入者名 熊本大学教育学部附属中学校同窓会

ご注意 * 通信欄には50周年記念誌希望とお書きください。

懐かしい母校に直接お訪ねいただき記念誌を購入される場合は送料分500円差し引いてお渡ししています。先生方の平均年齢も若返った附中をお訪ねください。